

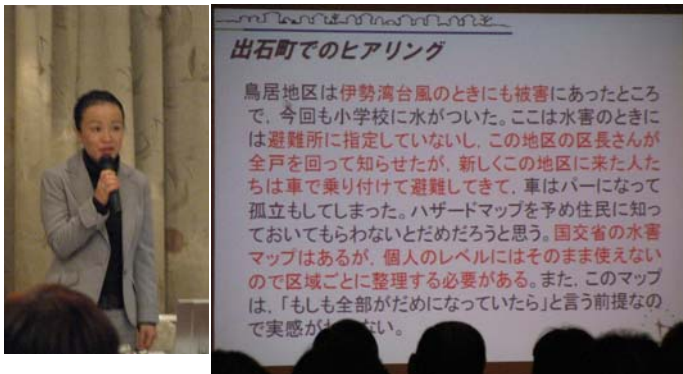
# こんなことあったよ！レポート

平成21年2月25日(水)

地域づくりセミナー 編



会場は多くの参加者でいっぱいでした。利用者はありませんでしたが、託児所の用意もされました。



実際に調査してきた内容や他地域での先進事例を紹介しながらの講演。



上町自治会やすみれ会の地域の实情に沿った活動事例を具体的にわかりやすく講演。



お二人の講演後、会場からは自治会運営に関する色々な質問がでました。

2月25日に「地域づくりセミナー 能代市自治会連合協議会研修会」がプラザ都で開催され、のしろ白神ネットワークのメンバーから講師として木材高度加工研究所の渡辺千明先生、事例発表者として能登祐子代表が防災や地域づくりについて発表しました。

セミナーには、自治会長や民生委員、消防の方々が130名ほど集まりました。

まずは、渡辺先生が「結果防災」のまちづくりについて講演。講演では、コミュニティがしっかりと形成されていることが、災害時の援助活動などに機能し、結果的に命を守ることに繋がるとし、他地域の様々な取り組み事例を紹介されました。

講演の最後のほうに、「知っているとは出来るは違う、知っているとはやっているは違う、やったことがあると続けているは違う」との話があり、何事も行動に移さなければ、と改めて自分を見直す良い機会となりました。

続いて、能登会長が上町自治会の会長として、地域に根ざしたとりくみについて事例発表。まずは上町自治会初の女性部「上町すみれ会」の誕生から、上町にある観音堂の維持活動を通じて、地域の方々と交流が生まれたことを説明。その交流のなかで、自分たちで出来ることとして、除排雪体制や防災体制の仕組みづくりに取り組んだそうです。防災組織を構築するさいに、従来からある組分けでは、道路を挟んでいたり避難に不都合であることから、新しく組分けをしたという話が印象的でした。

その後、上町すみれ会やのしろ白神ネットワークに関わる様々な活動紹介をされ、最後の、どんな活動も「楽しくなければ続かない！」という言葉は、多くの賛同を得たのではないかと思っています。

文：小林 淳